

西暦 2025 年 2 月 17 日

重度精神疾患標準的治療法確立事業のデータの利活用に関する研究事業 研究経過／終了報告書／成果報告書

重度精神疾患標準的治療法確立事業のデータの利活用に関する研究事業
研究利活用委員会 委員長殿

所属医療機関 東京都立松沢病院申請者 大澤 達哉

重度精神疾患標準的治療法確立事業（医療観察法データベース事業）において収集されたデータを用いて
行う研究について、

- ☒ 継続中につき、経過を報告します。
- ☐ 終了したので、結果を報告します（終了後の成果報告の予定 ☐あり ☐なし）。
- ☐ 終了後に成果を公表したので、報告します。

申請 番号	MTSA-005	研究 課題名	全国の医療観察法病棟における行動制限等の実態調査
研究結果（経過）： 提供データの解析を行った。対象ケースに転院などによる重複例があることや施設ごとのデータ入力方法が統一されていないなど、データの質が均一でないことが判明し、統計学的解析は困難であると判断した。そのため、提供データからは医療観察法病棟における隔離・拘束の実態と傾向を示唆する程度の結果を得るにとどまった。調査対象期間中、約 16.85%の対象者に少なくとも 1 回の隔離が行われたこと、当初の目的である治療人員数による行動制限の影響を知るために病棟規格別に入院総数に対する隔離の割合を比較したところ、病床数 33 床以上、病床 16－32 床、15 床以下の順に隔離をした割合が高かったことなどが明らかになった。			
上記公開に際しての希望： ☒ すぐに公開してよい。 ☐ 年 月以降に公開してよい。 ☐ その他（ ）			
研究利活用委員会に未報告の研究成果公表実績（学会発表、論文など）： 現時点でなし。 2025 年 9 月開催予定の第 21 回日本司法精神医学会大会に演題応募し、採択されれば発表する予定である。			

※事務局記入欄

初回申請

2022 年 5 月 16 日

初回承認

2022 年 10 月 4 日